

# INFORMATION RELEASE

ミサワホーム株式会社 〒163-0833 東京都新宿区西新宿 2-4-1 Tel.03(3349)8088 (広報直通)

2016年7月1日

ミサワホームグループの社員が

## 第58次日本南極地域観測隊に参加

- 越冬隊に1名が選任、参加隊員数は延べ18名に
- 基本観測棟の組立や居住棟などの建物のメンテナンスを実施

ミサワホームグループの社員である岡本裕司が、第58次日本南極地域観測隊員に選任されました。今月から大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立極地研究所（以下、極地研究所）の所員として活動し、11月に南極昭和基地に向けて出発します。今回の選任により当社グループからの日本南極地域観測隊への参加隊員数は延べ18名、第50次から9期連続の参加となります。

南極地域観測は、南極条約に基づき、国際協力のもと国が実施する事業の一つです。1957年以来、半世紀以上にわたって実施され、超高層物理学、気象学、雪氷学、生物学など広範囲の分野で研究活動が続けられています。観測隊は夏隊と越冬隊に分かれ、それぞれが研究観測や定常観測などを担当する「観測系」隊員と基地の設備や生活の維持を担当する「設営系」隊員で構成されています。限られた人数で観測から日常生活までを分担するため、隊員はいずれも各分野の専門家であることが求められます。

このたび当社グループから選任された岡本は、設営系の越冬隊員として、昨年受注した「基本観測棟」の組立をはじめ、居住棟などの建物のメンテナンスを実施する予定です。

同観測隊は11月下旬に日本を出発し、オーストラリアのフリーマントルで南極観測船「しらせ」に乗船後、昭和基地に向かいます。越冬隊員の岡本は現在活動中の第57次越冬隊と業務を交代して活動し、2018年春に帰国予定です。現在当社グループからは、福田真人が第57次越冬隊員として参加しているため、今年12月下旬から来年2月中旬まで当社グループからの出向社員2名が昭和基地にて、共同で活動することになります。

ミサワホームは今後も、専門技術を有する社員の派遣などを通じて、南極の観測活動に協力していきます。今回観測隊員に選ばれた岡本には当社グループの代表として、また南極地域観測におけるナショナルチームの一員としての誇りを持って無事に任務を遂行してくれることを期待しています。

## ■ 南極とミサワホーム

ミサワホームは、1968年の「第10居住棟」以降、日本南極地域観測隊の活動や生活を支える建物を受注し、その実績は、昨年受注した「基本観測棟」を含め累計36棟、延床面積約5,900㎡になります。建物に採用されている木質接着複合パネルは、徹底した品質管理体制の下、外装、断熱材、内装があらかじめ艱装され、昭和基地での夏場の限られた建設期間で、建築経験のない隊員でも短工期で施工でき、厳しい南極の気候に耐え続ける性能が特長です。

建物の受注に加え、南極の観測活動に貢献すべく、専門技術を有する社員が極地研究所へ出向し、設営系隊員として協力しています。昭和基地のシンボリック建物となっている「管理棟」や「第1・第2居住棟」、太陽光発電や風力発電の制御室、蓄電池室などを設けた南極最大級の大型建築物「自然エネルギー棟」などは、当社グループから参加した隊員が中心となり、専門分野の異なる隊員同士が協力して建設しました。

建物受注や隊員派遣以外の分野では、南極や日本南極地域観測隊の活動をより多くの方々にお知らせし、身近に感じてもらうことを目的としたインターネットコンテンツ「南極の歩き方」をミサワホームのWebサイト内に開設。観測活動の内容をはじめ、南極の自然現象や未踏の地を切り開いた南極探検家など、南極に関する幅広い情報を紹介しています。

また、全国の学校生活協同組合や教育関連団体と連携し、極地研究所の協力を得て、日本南極地域観測隊に参加した社員らが講師となり、小学校や中学校を中心に授業を実施する教育支援プログラム「南極クラス」を2011年から開催しています。生徒には、遙か遠くの南極の世界を身近に感じてもらうとともに、将来の夢や希望を持つこと、お互いに支えあいミッションを達成していくチームワークの大切さなどを伝えています。昨年度までに、延べ686校で81,000人以上の生徒を対象に開催しており、今年度も全国で実施中です。

他にも、「国立極地研究所南極・北極科学館」や「名古屋市科学館」において、南極昭和基地の居住棟のカットモデルを出展協力するなど、南極の観測活動の普及・啓発に協力しています。

## ■ 隊員プロフィール

### ○ 岡本 裕司（おかもと ゆうじ）

2002年4月にミサワホーム近畿株式会社が提携する施工業者に入社。大工歴14年。2016年7月1日よりミサワホームへ出向。プライベートでは、2児の父。何事にも挑戦する大切さを身をもって伝え、誇れる父親になりたいという思いで、今回のチャレンジに至った。

## ■ 当社グループから参加した社員

越冬隊	
第38次	工藤久男
第39次	小河宏之
第47・50次	井熊英治
第51次	秋元茂
第52次	渡邊慶太郎
第53次	堀川秀昭
第54次	中山宣彦
第55次	坂下大輔
第56次	浅野智一
第57次	福田真人 ※

夏隊	
第17次	西島弘雄
第33次	南雲正輝
第52・53次	井熊英治
第51・52次	坂下大輔

※現在、昭和基地にて活動中

以上

\*この件に関するお問い合わせ先\*

ミサワホーム(株) 経営企画部 コーポレートコミュニケーション課 中田義規 佐野遥香

TEL : 03-3349-8088 / FAX : 03-5381-7838

MAIL : [Haruka.Sano@home.misawa.co.jp](mailto:Haruka.Sano@home.misawa.co.jp)